



池川 拓 さん (20)
ガーデンハウスくりやま
北海道介護福祉学校卒

～取材時の印象～
取材中にもこぼれる笑顔。話しぶりからも優しさが伝わってきました。

利用者さんからの「ありがとう」
この一言でまた頑張れます



「大切にしているのはコミュニケーションです。笑顔での声掛けが、利用者さんの安心感につながります」と話す池川さん。
地元で働く決め手となったのは、北海道介護福祉学校時代にガーデンハウスの夜勤アルバイトで感じた職場の雰囲気。温かき。「この雰囲気大切にしながら、職員間でも信頼されるようになりたい」と人を大切にする介護士を目指し日々頑張っています。
「仕事をしていて一番嬉しかったのは、利用者さんにありがとうの一言をもらったときです」日々の利用者の方との関わりを大切にすることで、素晴らしいご褒美をいただけたようです。



「私が前向きになれたきっかけは先輩からの優しい一言でした」



川瀬 茶華 さん (18)
株式会社ノースペット
栗山高校卒

～取材時の印象～
仕事の話をする姿は真剣そのもの。芯の強さを感じました。

「先輩達には忙しい中時間を割いて教えてもらっているので、早く一人前になって自分の役割がきちんとできるようにしたい」と語っていた川瀬さん。現在はペットフードの梱包や包装などを担当しています。
最初は何をしてもいいかわからず、謝ってばかりでしたが、そんな心細さを救ってくれたのは先輩からの一言でした。
「大丈夫。謝らなくていいんだよ」最初は失敗するのが当たり前と、気持ちを切り替えることができた。前向きになることができました。
栗山町の商店街の街並みが好きで、「地元で働くことができて、家族と一緒にいることができ安心します」と笑顔をのぞかせていました。



「くりやま」で働く

－瞳キラキラ 新社会人－



この春から、「くりやま」で働く新社会人のみなさん。
都会に憧れ、地元から離れる人も少なくない中、くりやまで働こう！と瞳をキラキラ輝かせています。
慣れない仕事に苦勞しながらも、ひたむきに頑張る6人。
充実の表情と仕事ぶりをご紹介します。





橋本 勇希 さん (18)
北海道内田鍛工株式会社
栗山高校卒

～取材時の印象～

取材中の緊張した姿と仕事時の真剣な姿のギャップに早くも職人気質を感じました。

「多くのことを学んで

早く資格を取得したい」



現在研修中の橋本さん。3月21日の入社式から一週間、本社のある三重県四日市市で研修し、栗山町に戻った現在も3カ月で4つの部署（プレス、メッキ、溶接、組立）を回る忙しい毎日を送っています。取材の日には「組立」の部署に入り、電柱と電線の接続に使う「直角金物」の仕上げや梱包を行っていました。組立は製品の仕上げの工程となるので、高い集中力が要求されます。橋本さんは高校時代情熱を注いだ「弓道」で鍛えた持前の集中力を発揮し、一つひとつ確実に製品を仕上げていきます。 「これからは溶接もやりたいので、資格取得のために勉強したい」とさらなる意欲に燃えていました。



憧れのモノ作り

「地元で好きな仕事ができてよかった」



林 亮太郎 さん (18)
北海道内田鍛工株式会社
栗山高校卒

～取材時の印象～

とても明るく、キラキラ輝く瞳がまぶしいほどのフレッシュさを感じました。

「モノ作りを仕事にしたい」と内田鍛工に就職を決めた林さん。現在研修で入っているのはプレス（対になった工具の間に素材をはさみ、成形する）の部署で電柱に取り付ける弓支線アームのバンドを加工しています。 「たくさん製の製品を丁寧に仕上げ、次の工程に送りだした時に達成感を味わえるのが良い」とモノ作りができる喜びを語っていました。 バンドを組んで町内のイベントに参加したり、職場の仲間と社会人サッカーへの参加を計画したりとふるさと栗山町への思いは強く「栗山は住みやすく、地元で働めることができてよかった」と笑顔がこぼれていました。



金子 翔耶 さん (20)
株式会社 たいせつ
北海道立
札幌高等技術専門学院卒

～取材時の印象～

受け答えもしっかりしていて社会人一年生とは思えない、落ち着きがありました。

「大切なのは知識よりも

事故を起こさない心がけ」

「専門学校で学び、建築の予備知識はあるつもりでした。しかし現場で大切なのはまず、知識よりも事故を起こさない事。日ごろの心がけが一番大切だと教わりました」と語ってくれた金子さん。

中学時代の職業体験から、大工の仕事に憧れを持ち、たいせつに入社。憧れの世界に飛びこんで奮闘中です。今後は木材の墨付けや特殊加工などを行う部署に配属となり、活躍が期待されます。 ■生産次長 後藤正嗣さんから すぐに一人前になれるような生半可な世界ではないが、何年もかけてたくさん技術を得てほしい。将来的には会社を支える人材になって長く活躍してもらいたい。



「先輩たちの築いてきた

歴史と精神を受け継いでいきたい」



工藤 隼人 さん (18)
株式会社 たいせつ
栗山高校卒

～取材時の印象～

歴史や伝統を大切にしようとする熱い気持ちが言葉の端々に感じられました。

「この町で仕事をしたいと思っていました。地元の有名な会社で働くことができ、とても嬉しいです」と栗山町での就職を強く望み、夢を叶えた工藤さん。 現在は研修中で、会社の歴史や建築の基礎や安全管理などを学んでいます。 「先輩たちが築いてきたものを考えるとプレッシャーも感じます。ただ家を建てるだけでなく、木材一本にもこだわっていく精神を受け継いでいきたい」とこれからの仕事への決意を語っていました。 研修後はドライウッド（木材の乾燥）を担当する新しい部署に配属される予定で、「与えられた仕事は何でもこなしたい」と業務に対しての情熱が伝わってきました。

椿原町政が再スタート

無投票により3選 4月14日初登庁

平成18年の就任依頼、8年間にわたり「思いやりの心がかよう、元気の出るまちづくり」を政策目標に掲げ、町民皆さんの幸せの実現に向け、

3期目の決意

初登庁の後、職員に対し次のとおり3期目のスタートにあたり新たな決意を話しました。

出迎へのなか初登庁
任期満了に伴う4月1日告示の栗山町長選は、現職の椿原紀昭氏以外に届出はなく、無投票で3選となりました。4月14日、多くの職員が出迎えるなか椿原町長が初登庁しました。



たゆみなき挑戦を続けてきました。
1期目4年間の「基礎づくりの期間」、2期目4年間の「展開の期間」、そしてこれからの4年間の「結実の期間」と位置付け10年先20年先を見据えたまちづくりを推進します。3期目に向け次の「5つのステージ」を旗印にすべての町民の皆さんが「ふるさと」は栗山です！と誇れるまちづくりの実現を目指します。

椿原紀昭町長が政策推進に掲げる

5つのステージ

- 1 子どもたちの笑顔が輝くまち！
- 2 生涯を自分らしく生きられるまち！
- 3 活性化エンジン全開のまち！
- 4 ふるさとの財産を未来につなぐまち！
- 5 13,000人愛着の絆で創るまち！



まちづくり懇談会 皆さんの声を町政に を開催します

● 5月12日(月) 18:30～
カルチャープラザ「Eki」

● 5月13日(火) 18:30～
南部公民館

● 5月14日(水) 18:30～
角田農村環境改善センター

まちづくり懇談会の主な内容

- ① 椿原町長 3期目の政策について
- ② 平成26年度主要事業の内容と予算説明
- ③ 自由懇談



投票結果

栗山町長選挙および 栗山町議会議員補欠選挙

町長の任期満了(4月11日)に伴う栗山町長選挙および栗山町議会議員補欠選挙(欠員1人)が4月1日告示されました。

町長選挙は現職の椿原紀昭氏以外に届け出はなく、無投票で3選となりました。また、町議会議員補欠選挙は、欠員1人に対し2人の届出があり、4月6日に投票が行われ、前栗山町図書館長の土井道子氏(無所属、新人)が当選しました。

各投票所の投票状況および開票結果について、お知らせします。

なお、それぞれの任期は次のとおりです。

椿原町長
平成26年4月12日～
平成30年4月11日

土井議員
平成26年4月6日～
平成27年4月30日

■栗山町議会議員補欠選挙開票結果

有効投票 3,110票
無効投票 278票

	候補者名	得票数
当選	土井道子	2,197
	泉勝文	913



■栗山町議会議員補欠選挙 投票所別投票状況

有権者数: 10,735人 投票者数: 3,388人 投票率: 31.56%

投票所	有権者数	投票者数	投票率
1 スポーツセンター	2,954人	760人	25.73%
2 総合福祉センター	2,575人	694人	26.95%
3 カルチャープラザ	2,054人	577人	28.09%
4 雨煙別公民館	391人	87人	22.25%
5 角田農村環境改善センター	1,295人	411人	31.74%
6 南部公民館	1,277人	305人	23.88%
7 円山文化センター	189人	74人	39.15%
期日前投票	—	480人	4.47%
合計	10,735人	3,388人	31.56%
前回	11,202人	8,040人	71.77%



当選証書を受け取る 土井道子議員



当選証書を受け取る 椿原紀昭町長

栗山町選挙管理委員会(村上哲委員長)は4月7日、栗山町長選挙と栗山町議会議員補欠選挙の当選証書を、当選者である椿原紀昭町長と土井道子議員に交付しました。

選挙管理委員会が
当選証書を交付